

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成19年 12月 20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2274201876
法人名	加藤建設株式会社
事業所名	グループホーム ジョイ村松
所在地 (電話番号)	〒424-0934 静岡県清水区村松原1-7-16 Tel 054-337-1500 FAX 054-337-1501
評価機関名	セリオコーポレーション有限会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成19年10月2日

## 【情報提供票より】(平成19年 9月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 9 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 7 人

### (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	26,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 180,000 円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

### (4) 利用者の概要(平成19年 9月 10 日現在)

利用者人数	8 名	男性	2 名	女性	6 名
要介護1	2 名	要介護2			
要介護3	3 名	要介護4		2 名	
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 82.3 歳	最低	63 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	宮城島医院、相原歯科医院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設して3年目を迎えたホームである。施設長と職員間の信頼関係も厚く、昨年度の外部評価の要改善項目の改善や今回の自己評価票の作成にも職員全員で取り組み、新たな気づきを見つけ出し、それを日々のケアに活かしており、その結果家族アンケートでも高い評価を得ている。隣にデイサービスが併設されており、機能訓練や馴染みながらのホームの利用に活用されている。また、ターミナルケアに対するグループホームの果たすべき役割が重要になってきているが、「緊急時の対応及び重度化、看取りに関する指針」を定め、同意を得られた利用者に対し、職員が適切に対応できるよう配慮されている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の6個の要改善項目の内、場所間違いの防止・情報伝達・栄養状況の把握・服薬支援・注意物の保管については、努力して改善されていた。市町村との関わりについては、今後の課題である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ホームは外部評価の意義を良く理解し、自己評価票の作成に当たり、職員全員で取り組み、新たな改善項目を見つけてケアに活かしていた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議はこれまで2回開催され、次回年内開催が予定されており、必要な討議はされているが、2ヶ月に1回の定期開催はされていない。粘り強く開催を働き掛け、更に地域に密着したホーム作りが期待される。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>重要事項説明書に、ホームや公的窓口の紹介をしており、面会時には常に家族の意見を聞き、ホームの運営に反映している。 家族アンケートにおいては、ほとんどの家族が職員の対応やサービスについて良好と認めた回答を寄せている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会や老人会への入会が困難となっているが、近隣住民とは至って良好な関係であることから、認知症に対する介護のノウハウや相談等広く一般に周知し、グループホームに抱く懸念を払拭される努力を期待したい。</p>

## 2. 評価結果報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の運営理念に「その人らしく 安心した暮らし なじみの暮らし」を掲げ、夏祭り等にも参加し、地域と一体となったサービスを提供するよう取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホーム内に掲げ、管理者・職員がその共有化に努め、理念に基づいて作成されたサービス計画を元に、ケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民とは、近所の神社で行われる夏祭りの踊りへの参加等の交流を図っている。自治会の理解が今ひとつで、営利団体との判断で、自治会や老人会の入会できなかつたり、回覧版を回して貰えない等のハンディーがあるが、ホームとしては地域との付き合いに努力している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票の作成に当たり、職員全員で取り組み、新たな改善項目を見つけてケアに活かしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、これまで 19/1/14、7/8の2回開催され、年内にもう一度開催予定であり、状況報告や話し合いは行われているが、自治会の理解の問題もあり、2ヶ月に1回の開催はできていない。	○	理解を得られるまで時間が掛かるかもしれないが、介護教室開催等拒めない提案で運営推進会議の活用を図っていただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて報告、連絡、相談はしているが、ともにサービスの質向上への取り組みは十分とは言えない。	○	市からの委託事業を受託する等、新たな取り組みを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ホームでの生活状況などは毎月のホームたよりで、利用者個々については担当者ごとの利用状況報告書を作成し、家族へ送っている。また家族の訪問時には様子を報告している。健康状態については、変化があった場合はただちに連絡をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に、ホームや公的窓口の紹介をしている。面会時などには常に意見を聞いており、苦情などがあった場合は、直ちに管理者に報告をして対応し、その後会議等で対策を検討している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の定着に最も意を用いており、馴染みになった職員には体制を考慮するなどして、できるだけ勤めてもらえるよう努力している。勤務交代の場合は、他の職員と勤務同行し、少しずつ利用者と顔馴染みになって頂けるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	開催されている研修には、勤務調整をして積極的に参加させており、それを元にして内部研修もおこなっている。資格の取得にも積極的に支援をし、手当も用意されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括センターや地区社協の会合に参加し、同業者との情報交換をするなど、ネットワークの構築に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前アセスメントで本人の意志を尊重するよう、十分に意見を聞いている。また、見学時に他の利用者とは交流する機会を作り、場合によっては食事を一緒にするなどしている。ショートステイを事前に利用してもらうことも提案している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりの人格を尊重し、それぞれの役割を持って、家庭的な環境の下で日常生活が送れるよう支援している。家事や会話などを通じ互いに学び、支え合い、感謝する事を忘れないようにしている。喜びや楽しみはもちろんの事、怒りや哀しみも互いに表現しあっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりと接する中で、本人の生活状況や趣味趣向などを把握し、これを前もって家族に記入して頂いているバックグラウンドアセスメントシートに反映し、本人の希望にかなえるように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者がいかにより良い暮らしができるかは、家族等との密接な情報交換であるとして、本人及び家族等からの介護に対する意見を聞き入れた結果をまとめてケア会議で検討し、職員間の共有化を図っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者個々の介護計画は、原則として3ヶ月に1度、見直しが行われており、日々の状態が変化したときには、職員間の話し合いにより介護計画を随時変更している。また、その状況を家族にも報告がされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望に応じて、併設のディサービスによる機能訓練、通院介助、緊急宿泊サービスを支援している。また、毎日関連グループ内の看護職員がきて、体調などの健康管理を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望に添うよう、かかりつけの医療機関へ継続して受診しているが、受診不可能の場合や希望等のない場合には、協力医療機関での受診となっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、「緊急時の対応及び重度化、看取りに関する指針」を定め、職員共通の認識を持つよう指導しているほか、利用者の家族にも説明し同意を得ている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ミーティングなどの折に職員の意識向上を図っており、利用者や接する中で職員がプライバシーを損ねるような言動はみられなかった。また、介護計画等の個人情報は、それぞれのファイルに整理し、事務所内の鍵のかかる書庫に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れの中で職員は声かけをするが、時間の配分などは利用者本人に委ねられている。散歩や買物に行く者、居室にこもり趣味等に興じる者、併設のディサービスの健康器具を使って機能訓練をする者等々、その人らしい暮らしぶりが見られる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望を聞きながら決めている。利用者と材料の買物や、盛り付け、片付け等も共に行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できる雰囲気作りがされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望する日や時間に可能な限り入浴を実施している。また、入浴を嫌がる利用者には、自然と服を脱ぐように仕向けるなどの言動を工夫した対応がされている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	今までの経験や生活歴から、一人ひとりの力が発揮できそうな役割(例えば、雑巾縫い・食事の盛り付け・菜園の水掛等…)を頼み、感謝の言葉が伝わるように配慮している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天気や本人の気分、希望によって、散歩だけでなくスーパーへの買い物あるいはドライブ等に出かけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者及び全ての職員は、鍵をかけない暮らしの大切さについて認識はしているが、玄関に入ってすぐのところに事務所があるため防犯上玄関は施錠している。居室の鍵は利用者の意思に任せ、外からは施錠はしていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年1回利用者とともに避難訓練を行っている。地域との協力体制は、日ごろより近隣の人々との交流を行うなど協力関係は構築されている。また、自治会や運営推進会議でも協力を呼びかけをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、利用者に合わせた食事作りをしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の天窓からは自然光が差し込み、調度品も木目調なものを使用するなど、柔らかな明かり家庭的な雰囲気が醸し出されている。また、居間、浴室、トイレ等も清潔に保たれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者ごとに適当な広さの居室がある。各居室には本人が使用していた馴染みのタンスや日用品、テレビ等が持ち込まれ、利用者の好みに合わせた環境が作り出されていて、自由に居心地よく暮らせるような支援が行われている。		